

## Q. 子宮頸がんワクチン助成継続と ワンコイン検診導入を

## A. 助成の継続は国の動向を 見極めてから



岩村 みゆき 議員

**Q** 3人に1人はがんで亡くなっているが、がん検診受診率は2割程度と欧米に比べ極端に低い。豊山町では2019年までに50%にこの目標設定されている。町民の命を守るため、目標達成に全力をあげるべきである。

また、子宮頸がん予防ワクチンの高額になる接種費用の助成制度も大変重要である。そこで、以

下のことを聞く。

- ①子宮頸がん予防ワクチンの助成制度は、来年度も引き続き行つか。また、もう1種類ワクチンが承認されたが、助成するか。
- ②がん検診受診率50%へ目標達成のための方途。
- ③受診率をあげるために乳がん、子宮がんワンコイン検診を導入する考えがあるか。

**A**

①平成24年度の子宮頸がん予防ワクチンの助成制度の継続は、

国の動向を見極めてから、判断する。なお、子宮頸がん予防ワクチン「ガーダシル」は、9月15日以降、町の接種費助成対象ワクチンと位置付け、現行の接種ワクチン「サーバリックス」と同様の基準単価で実施する。

②がん検診受診率50%目標達成のための方策とし



女性の皆さん、がん検診を受けましょう

ては、子宮がんや乳がん検診における節目年齢の方への無料クーポン券制度を活用している。本年度から大腸がん検診にも適用して、さらに受診率の向上を図る。また、定期的ながん検診受診の意識付け、広報活動や健康教育による啓蒙に努める。そのほか、医療機関での個別検診の実施の検討を続ける。

③乳がん・子宮がんなど特定のがん検診に限定した「ワンコイン検診」での検診料の減額措置は考えていない。